
困った訪問者

イレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

困った訪問者

【Nコード】

N7809B

【作者名】

イレ

【あらすじ】

突如、僕の心に現れた訪問者。どこかあったかく、懐かしい奴だった。

冬と春の中間点

別れの季節と進級の慌ただしさが交じり合う頃

今はまだ3月なのに新入りが現れた

僕の住んでいる町はもう大好きな桜のピンク色は見当たらない

いつの間にか黄緑色の爽やかな装いになっている

今年の桜の花をよく見納めなかったことを本当に残念に思う

今はまだ3月なのに

僕の心の中に新入りが現れた

” コンコン ”

” コンコン ”

何度もノックされた

この中を寒いと言ったら嘘になる

まだ外は暖かいとは言えない季節なのに

” そうだ新入り呼び名は何にしよう？ ”

ドアを挟んで聞いてみる

暗い夜空のような「暁」？

白紙に流れ落ちた色「紅」？

やっぱり僕にはお前に名前つけてあげられない

第一正体が分からない

何より

壊してしまっても責任とれない

” そうだ！！誰にもバレないで枯れてくれるのを

居なくなってくれるのを待とう

でもな…

僕の所にはもう訪問者来ないと思ってた

でもお前は来てくれた

「誰かいるの？」

質問されても何も答えられない

まだ知らないお前を隠している

ごめんな

この中のこのズッシリとした「重い」も

現れた頃からとくに知っていたのに

上から黒く塗りつぶす

でも

お前は消えちゃくれない

何度も鮮やかに舞い戻ってくる

入ろうとする

だから…

何度も知らないふりする

知らないふりした

でも

お前は大きくなるばかりだ

そろそろ認めなくちゃ

”もう訪問者中にいれてあげようか？”

いつも暖かくしてくれたから

前にも来てくれたけど枯らしてしまったね

潰してしまったね

殺してしまったね

忘れてしまっていたから

ごめんな

ごめんな

お前ずっと居たんだろう

隠してて

入って来いよ

胸の中に手土産

冬の次の季節を持ってきてくれた

「好き」

それがお前の名前だろう

寒かったろう

ずっと

認められなくて許してくれ

今度はちゃんと

成長させるからな

僕の中に訪問者が現れた

新しい気持ちが生まれた

逃げてたコイツ

君を好きだというこの

想いと向き合っていると思う

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7809b/>

困った訪問者

2011年1月20日05時12分発行